

# 令和4年度東松島市健全化判断比率等について

## 健全化判断比率の状況

(単位：%)

項目	東松島市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.26	20.00
連結実質赤字比率	—	18.26	30.00
実質公債費比率	9.5	25.00	35.0
将来負担比率	—	350.00	

※実質赤字額、連結実質赤字額、資金不足額又は将来負担額がない場合における当該額により算定する比率の欄については、「—」を記載。

標準財政規模	10,455,412千円
うち臨時財政対策債発行可能額	145,481千円

## 連結実質赤字比率等の状況

(単位：千円)

会計名	令和4年度	
一般会計	777,433	
実質赤字比率 (%)	-7.43	
特別会計	国民健康保険	85,554
	後期高齢者医療	17,207
	介護保険	93,101
法適用企業	下水道事業会計	347,956
法非適用企業	柳の目地区産業用地造成事業	0
合計	1,321,251	
連結実質赤字比率 (%)	-12.63	

※実質収支又は連結実質収支が黒字の場合は、「実質赤字比率 (%)」又は「連結実質赤字比率 (%)」は負 (-) の値で表示されます。

実質公債費比率の状況

(単位：千円)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	元利償還金の額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く)	積立不足額を考慮して算定した額	満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)等	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	一時借入金の利子
令和2年度	1,545,089	0	0	825,894	55,329	29,424	0
令和3年度	1,726,585	0	0	684,164	50,400	67,962	0
令和4年度	1,459,304	0	0	738,830	54,605	67,640	0

	⑧	⑨	⑩	⑪
	元利償還金に充てた特定財源の額	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	災害復旧費等に係る基準財政需要額	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金及び準元利償還金(ただし、④～⑦に係るものは、地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る)
令和2年度	175,416	180,438	1,302,408	8,042
令和3年度	187,002	123,687	1,163,281	6,988
令和4年度	216,373	218,109	1,164,431	6,419

	⑮	⑯	⑰
	標準税収入額等	普通交付税額	臨時財政対策債発行可能額
令和2年度	5,039,628	4,725,165	353,132
令和3年度	4,895,412	4,882,847	474,090
令和4年度	5,135,909	5,174,022	145,481

	実質公債費比率 (単年度)	実質公債費比率 (3カ年平均)
令和2年度	9.15067	9.5
令和3年度	11.70023	
令和4年度	7.88673	

【実質公債費比率算定式】

$$\frac{①+②+③+④+⑤+⑥+⑦-⑧-⑨-⑩-⑪}{⑮+⑯+⑰-⑨-⑩-⑪}$$

(参考)

	⑥の内訳						
	PFI事業に係る債務負担行為に係るもの(省令第7条第1号)	いわゆる五省協定等により、利便施設及び公共施設を買い取るために行った債務負担行為に係るもの(省令第7条第2号)	国土土地改良事業並びに独立行政法人森林総合研究所、独立行政法人水資源機構及び独立行政法人環境再生保全機構の行う事業に対する負担金(省令第7条第3号)	地方公務員等共済組合が建設した職員住宅等の無償譲渡を受けるために支払う賃借料(省令第7条第4号)	社会福祉法人が施設の建設のために借り入れた借入金の償還に対する補助(省令第7条第5号)	その他これらに準ずると認められるもの(省令第7条第6号)	利子補給に係るもの(政令第11条第4号)
令和2年度	29,424					0	
令和3年度	32,421					35,541	
令和4年度	32,099					35,541	

# 将来負担比率の状況

## 【将来負担額の状況】

(単位：千円)

地方債の現在高	債務負担行為に基づく支出予定額	公営企業債等繰入見込額	組合等負担等見込額	退職手当負担見込額
15,586,817	145,499	6,722,744	226,461	1,680,149

(単位：千円)

設立法人の負債額等負担見込額	地方道路公社	土地開発公社	第三セクター等	連結実質赤字額	組合等連結実質赤字額負担見込額
	0	0	0		

## 【充当可能財源等の状況】

(単位：千円)

充当可能基金	充当可能特定歳入	基準財政需要額算入見込額	
		うち都市計画税	
12,110,299	1,717,051	0	12,980,664

## 【将来負担比率の算定】

将来負担額 A	—	充当可能財源等 B
24,361,670		26,808,014

標準財政規模 C	—	算入公債費等の額 D
10,455,412		1,388,959

$$\begin{aligned}
 &= \frac{\begin{array}{|c|} \hline A - B \\ \hline \Delta 2,446,344 \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline C - D \\ \hline 9,066,453 \\ \hline \end{array}} = \begin{array}{|c|} \hline \text{将来負担比率 (\%)} \\ \hline - \\ \hline \end{array} \\
 & \hspace{15em} -26.9
 \end{aligned}$$